原議保存期間
 20年(令和27年3月31日まで)

 有 効 期 間
 一 種

庁内各局部課長 各附属機関の長 各地方機関の長 各都道府県警察の長 警察庁丙会発第49号令和7年3月31日警察庁長官官房長

警察法施行令の一部を改正する政令等の施行について (通達)

警察官等の服制に関しては、警察法施行令(昭和29年政令第151号。以下「政令」という。)、警察官の服制に関する規則(昭和31年国家公安委員会規則第4号。以下「規則」という。)及び警察官等の服制に関する細則(平成6年警察庁訓令第1号。以下「細則」という。)等において、その仕様等が規定されているが、暑熱対策及び様式の統一等を図るため、政令等関係法令の一部を改正することとし、令和7年4月1日から施行されることとなった(別添1官報の写し及び別添2訓令条文参照)。その概要及び留意事項は下記のとおりであるので、事務処理上遺漏のないようにされたい。

記

1 政令の一部改正

警察庁の警察官及び皇宮護衛官に対し、任命後初めて支給する支給品の品目から夏服スカートを削除した。

2 規則の一部改正

(1) 暑熱対策

ア 新たな夏服上衣の導入

警察官が活動しやすい新たな夏服上衣として、ポロシャツ型(プルオーバー)の夏服上衣を導入し、規則別表中、現行の夏服上衣を夏服上衣第一種と改め、ポロシャツ型の夏服上衣を夏服上衣第二種と規定した。また、夏服上衣の地質に「編物」を追加した。

イ 高い通気性を有する活動帽の導入

合活動帽子及び夏活動帽子の天井部に通気性の高い素材を選択できるよう、地質に「編物」を追加した。

ウ 制帽記章の洗濯可能な素材の導入

現行の制帽記章が洗濯可能となるよう、素材に合成樹脂を追加した。具体的には、現行の冬服上衣及び合服上衣の仕様書で定められている三層貼り合わせ樹脂シート(エンブレム)のもの並びに現行の冬ワイシャツ、合ワイシャツ及び夏服上衣に規定されているケイ素樹脂製(エンブレム)を想定している。

(2) 様式の統一

ア 女性警察官用スカートの廃止

女性警察官の職域拡大等に伴い、現場警察活動においては機動性を重視してズボンを着用しており、スカートがほぼ使用されていない実態を踏まえ、スカートを廃止した。

イ ズボンの仕様(ポケットの数等)の統一

現行の規則では、女性警察官ズボンの制式について「スカート又は男性警察官 冬服ズボンと同様とする」と規定されているところ、スカートに準じた形式のズ ボンを廃止し、前身内合わせ以外は男性警察官ズボンと同様の形式に統一した。

ウ 階級章及び活動帽の記章サイズの統一

現行の規則では、男性警察官と女性警察官の階級章及び活動帽の記章のサイズ について、男女で違いがあるところ、管理品目の合理化のため、男性警察官のサ イズにそれぞれ統一した。

(3) 実用面の改善

男性警察官活動帽及び女性警察官活動帽はいずれも7種類のサイズがあるところ、管理品目の合理化とより広いニーズへの対応という観点から、後面にアジャスター等を用いたサイズ調整可能な活動帽を導入した。

また、後部に付ける階級表示については、サイズが小さいため容易に階級を判別 しづらく、部隊活動において活動帽の階級表示により部隊指揮をする機会は少ない などの理由から廃止した。

(4) その他

現行の規則では、多くの被服の地質には「合成繊維」と規定されているところ、素材の選択肢を広げるため、合成繊維及び再生繊維等の総称である「化学繊維」へと一括して改めた。

3 交通巡視員の服制に関する規則の一部改正

交通巡視員の服制について、警察官の服制に準じて交通巡視員の服制に関する規則 (昭和45年国家公安委員会規則第7号)の一部を改正した。

4 細則の一部改正

(1) 交番・駐在所等における脱帽(第2条関係)

現行の細則第1条第2項及び第2条第1項において、交番、駐在所等で公衆の面前において勤務する時は脱帽ができないこととされているところ、交番、駐在所等における脱帽が可能となるよう、第1条第2項の規定が第2条第1項に及ばないよう改正した。

(2) 活動服着用時のネクタイ着用の省略(第2条関係) 活動服着用時のネクタイ着用の省略が可能となるよう、規定を新設した。 なお、規定中の「活動服を着用して勤務するとき」とは、活動服を着用して業務 に従事している場合を示し、活動服を脱いでいる場合も含める。

また、活動服を着用している職員と制服上衣を着用している職員が、それぞれ活動服又は制服上衣を脱いだ際に、ネクタイを着用していない職員と着用している職員が混在することとなるため、ネクタイ着用の省略については、斉一性の観点から、本部長の定めるところにより可能とした。

○号)(警察庁)
○号)(警察庁)

1 警察庁の警察官及び皇宮護衛官に対し支給する支給品の品目から夏服スカートを削ることとした。(第八条第三項関係)

制服

官

〇国家公安委員会規則第三号

察法(昭和二十九年法律第百六十二号)第七十条の規定に基づき、警察官の服制に関する規則及び交通巡視員の服制に関する規則の一部を改正する規則を次のように定める。 令和七年三月三十一日

警察官の服制に関する規則及び交通巡視員の服制に関する規則の一部を改正する規則

規定として移動する。 して掲げるその標記部分(連続する複数の規定を記号により一括して標記した箇所を含む。)に二重傍線を付した規定(以下「対象規定」という。)は、 次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分のように改め、改正前欄及び改正後欄に対応 (警察官の服制に関する規則の一部改正) 警察官の服制に関する規則(昭和三十一年国家公安委員会規則第四号)の一部を次のように改正する。 改正前欄に掲げる対象規定を改正後欄に掲げる対象

(第二条関係) 男性警察官 冬服 夏服 合服 上衣 上衣 上衣 略 略 改 地質 地質 第 略 略 略 略 種 色 正 毛織物、 毛織物、 織物若しくはこれらの混紡織物、交 物若しくは交編編物とする。 撚織物若しくは交織織物又は毛編 毛織物、麻織物、綿織物、 物とする。 混紡織物、 物とする。 混紡織物、 若しくはこれらの混紡編物、 水色とする。 麻編物、綿編物、化学繊維編物 後 化学繊維織物又はこれらの 化学繊維織物又はこれらの 交撚織物若しくは交織織 交撚織物若しくは交織織 化学繊維 別表 制服 (第二条関係) 男性警察官 冬服 夏服 合服 上衣 上衣 上衣 同上 同上 改 地質 地質 地質 色 同上 同上 同上 同上 正 織物又はこれらの混紡織物、 物若しくは交織織物とする。 物とする。 混紡織物、 毛織物、 毛織物、 物とする。 混紡織物、 水色とする。 前 麻織物、 合成繊維織物又はこれらの 合成繊維織物又はこれらの 交撚織物若しくは交織織 交撚織物若しくは交織織 綿織物、 合成繊維 交撚織

国家公安委員会委員長 坂井 学

前 肩 常 様 レエムンブ 袖 後面 前面 肩章 2 1 第 第 物若物撚織毛 水 形 服図け台 2 1 上 2 1 2 1													
大田 1													
大田 1													
(本)						第二種							
章			制式		地質	色							Í
We We We We We We We We	前面	肩章	襟					レエムンブ	袖	後面	前面	肩章	i
		_	<u> </u>	物若しくは交編編物とする物、麻編物、綿編物、化学物、麻編物、綿編物、化学物、麻網物、化学物、麻解物、化学が、麻解物をはない。	毛織物、麻織物、綿織物、	水色とする。		9 章 で 色の人	各 と	上部にヨークを入れる。	付蓋設を	い い い い い い い の の の の の の の の の の	
	指ボタン二個 			る。 ・	和此		る。		脂 式 が 神口 		「一	シ」と I に 縫い I に 経い I I に 経い I I I I I I I I I I I I I I I I I I	
	に は			る。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	和此		ි 		脂ボタン 		- 個を - 一個を 	- 2 と - 1 に 縫 い	
	E-t-t-t-t-t-t-t-t-t-t-t-t-t-t-t-t-t-t-t			る。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	和此		ි දි.	冬 次 能		後去	をを値		1
	E 付ける。 は蓋及び黒金 ット各一個を 			3。 で が、 交 が編 	和此			冬分プレムンブ	袖	由	が面	肩章	1

										制帽				适									
														活動服									
	夏 帽 子	合帽子								冬帽子	略]			冬活動服									
														服					ズボン				
	地質								制式				制式					地質					
略	質	略							式	略			式	略	略			質	略!				
				略				記章	略				略						 		レニム	エンブ	袖
	1		形状は、		TJ	2	脂 F	1				形状は、				物若	織物	毛織物、	 	形状は、		_	第一
					工皮革の台地とする。	黒色のフェルト製、	指製の桜で囲む。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	室色の金属製又は合成樹脂製の金色の金属製又は合成樹脂製の				Ι.				物若しくは交織織物とする。				図	利 同	第一重上司 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	第一種と同様とする。
	に これらの は 交織織 、 は 交織機		図六のとおりとする。		台地と	フェル	で囲むす	金属製				図五のとおりとする。				交織織	れらの	麻織物、		四	ᡮ	兼とす	様とす
	物とする。		おりと			製、	。 〕 集	又は日				おりと				物とす	混紡織	綿織物、	į	のとおりとする。	7	5,	る。
	製網目織物 を を ただし、 る。ただし、 る。ただし、		する。			布製又は人	i i	ストは一成樹脂				する。						、化学繊維	i I I	する。			
	に 三 に に だ に だ に だ に が に だ に が に に に に に に に に に に に に に					は 人	村	以 製									交撚織	繊 維	 				
										制帽				活動服									
	夏帽子	合帽子									同上												
	夏 帽 子	合帽子								制帽冬帽子	[同上]			活動服冬活動服					ズボ				
									制	冬帽子	[同上]		制	冬活動服				地	ズボン				
[同上]	夏帽子	合帽子 [同上]							制式		[同上]		制式		[同上]			地質	ズボン [同上]				
[同上]									制式	冬帽子	[同上]		制式	冬活動服	[同上]			地質	ンi				
[同上]				「回」				記章		冬帽子	[同上]			冬活動服	[同上]			地質	ンi				
[同上]	地質		形4	[同上]	Lile	2		1	制式 [同上]	冬帽子	[同上]	形北	制式 [同上]	冬活動服	[同上]	物·			ンi				
[同上]	地質		形状は、図	[同七]	地とする) 集成:	1 V		冬帽子	[同七]	形状は、図		冬活動服	[同上]	物若しくは		毛織物、	ンi				
[同上]	地質			[同上]	地とする。		人参称で見る	1 V		冬帽子	[同七]	図		冬活動服	[同十]	物若しくは交織的		毛織物、	ンi				
[同上]	地質			[同上]	地とする。		ノ豊林二目さ	1 V		冬帽子	[同上]	図		冬活動服	[同上]	物若しくは交織織物とす		毛織物、麻織物、	ンi				
[同上]	地質 地質 表 物若しく をする。 とする。		形状は、図五のとおりとする。	[同4]	地とする。	2 黒色のフェルト製又は布製の台)集村「目さ	1		冬帽子	[恒十]			冬活動服	[同上]		織物又はこれらの混紡織物	毛織物、	ンi				

令和7年3月31日 月曜日

				防寒服									活動帽
				第一種		夏 活動 帽 子	合活動帽子						冬活動帽子
ズボン				上衣		帽 子	十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十						帽子
制式略		制式	地質	略	略	地質	略					制式	略
	略							 			記 章	略	
5 4 3 2 1 ナ 二 前 方 る 左 長 形 上 裾 ほ た た 天	形状は、	略	若しく	-		と		とおりと 後面		2 る。 濃	C.		
長ズボンとする。 長ズボンとする。 左右の腰部に伸縮性 がる。 に個を付ける。 に個を付ける。 ボー各一本を付ける。 形状は、図十のとれ	図した		若しくはこれらの混結合成皮革又は毛織物、			とすることができる。 毛織物、麻織物、綿織物、麻綿物、化学繊維編物又はこれらの混紡織物、麻綿物、化学繊維編物又はこれ にあつては毛編物、麻原 大井にあつては毛編物、麻原 大井にあつては毛編物、麻原 大井にあつては毛編物、麻原 大井にあつては毛編物、麻原 大井にあつては毛編物、麻原 大井にあってはたる。 大田にから、本田にから		とおりとすることができる。し、後面及び側面にあつていい、後面及び側面にあつていい。		。濃紺色の人	む。色のけい		
十 付か。。部 にする。 に	とおりとする。		の混紡織 ペー			きる。 物若しくは に もる。 に もる。 に も は た は た は た り と は る り る り る り る り る り る の に る る 。 の る る る 。 の る る 。 の る る 。 の る 。 の る 。 の る 。 の る 。 の る 。 の る 。 の る の 。 の と の と の と の と の と の と の と の と の と		することができる。 図七のとおりとする。		八工皮革の	素樹脂製		
形状は、図十のとおりとする。長ズボンとする。 前立ての上部に紺色樹脂ボタン簡立ての上部に紺色樹脂ボタン個を付ける。 個を付ける。	する。		若しくはこれらの混紡織物とする。合成皮革又は毛織物、化学繊維織物			大		りとすることができる。 とだい 図七のとおりとする。 ただ		人工皮革の台地とす	囲む。囲む。最間製で日章を桜金色のけい素樹脂製で日章を桜		
			初日			物 混 綿 ८ 織 維		0//21			1位	-	
				防寒服									活動帽
				防寒服 第一種		夏活動	合活動						活動帽 冬活動
ズボン						夏活動帽子	合活動帽子						活動帽 冬活動帽子
ボ ン #al		制式	地質	第一種上衣	[同上	夏活動帽子						制式	冬活動帽子
ボン		制式	地質	第一種上	[同上]		合活動帽子 [同上]					制式	冬活動帽子
ボ ン #al	同上	制式	地質	第一種上衣	[同上]				示級表		記章	- ¬	冬活動帽子 [同上]
ボン 制式 同上 5 4 3 2 1	形状は			第一種上衣	[同上]	地質		形状は	2 1	2 る。濃	1	[] [] [] []	冬活動帽子 [同上]
ボン 制式 同上 5 4 3 2 1	形状は、図七	制式 [同上]		第一種上衣	[同上]	地質		形状は、図六の	2 1	ろ	1	[] [] [] []	冬活動帽子 [同上]
ボン 制式 同上 5 4 3 2 1	形状は、図七		若しくはこれらの混紡	第一種上衣	[同上]	地質		1	2 1	ろ	1	[] [] [] []	冬活動帽子 [同上]
ボン 制式 1 5 4 3 2 1	形状は、			第一種上衣	[同上]	地質を増加しております。 地質 を を を を を を を を を を を を を を を を を を		形状は、図六のとおりとする。	級 表 2 1 て	る。 2 濃紺色の人工皮革の台地とす	1	[] [] [] []	冬活動帽子 [同上]

2 前立てに核葉ドットボタン六組 地色と同色のバックル付ベルトを 通す。 4 1から3までのほかは、第一種 上衣と同様とする。					2 前立てに核葉ドットボタン六組 を一行に付ける。 3 腰部にベルト通し五本を付け、 地色と同色のバックル付ベルトを 通す。 上衣と同様とする。 上衣と同様とする。			
	制式					制式		
合成繊維織物とし、防水加工を施す	地質				化学繊維織物とし、防水加工を施す。	地質		
	同上		第二種			[略]	第二種	
6 形状は、図十一のとおりとする。					6 形状は、図十三のとおりとする。			
5 裾口の外側から上に向け面ファ					5 裾口の外側から上に向け面ファ			
組					組			
4 前立ての上邻こドットボタンニタン三組を一行に付ける。					4 前立ての上邪こドットボタンニータン三組を一行に付ける。			
3 前立てに地色と同色のドットボ					3 前立てに地色と同色のドットボ			
ける。					ける。			
	制式					制式		
	同上	ズボン				略	ズボン	
形状は、図十のとおりとする。					形状は、図十二のとおりとする。			
[恒4]					[略]			
[同七]	制式				[略]	制式		
合成繊維織物とし、防水加工を施す。	地質				化学繊維織物とし、防水加工を施す。	地質		
	同上	上衣	第一種	雨衣		[略]	第一種上衣	雨衣
形状は、図九のとおりとする。					形状は、図十一のとおりとする。			
[同4]					[略]			
[同4]	制式				[略]	制式		
若しくはこれらの混紡織物とする。合成皮革又は毛織物、合成繊維織物	地質				若しくはこれらの混紡織物とする。合成皮革又は毛織物、化学繊維織物	地質		
	同上		第 二 種			略	第二種	

	手錠			警棒		帯革			1	ネ		ヤワ
	錠			棒		革	略			ネクタ		ヤワーツインシ
									合ネクタイ	冬ネクタイ		合ワイシャツ
制式	略		制式	略	制式	[略]		[略]	地質	[略]	制式	地質
3 形状は、図十七のとおりとする。 と 本体に鍵穴各一個を設け、日章各一個を設け、日章各一個を設け、日章を上側を設け、環で連結する。		2 握り部先端につばを付け、つばのを巻く。	1 伸縮式とし、ストッパーを付け		1 遊革及び日章を桜で囲んだ記章を入れた銀色の金属製バックルを付ける。 2 本帯に拳銃用調整具、留め革、手錠入れ及び警棒つりを通す。 3 拳銃用調整具に留め金で拳銃入れを留める。				表織物、化学繊維織物又はこれらの毛織物、化学繊維織物又はこれらの		1 肩章は紺色とする。 2 襟元に黒金色樹脂ボタン一個を付ける。 3 長袖とする。 4 1から3までのほかは、夏服上 4 た第一種と同様とする。	物若しくは交織織物とする。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	手錠			警棒		帯革				ネ		ャワーツイ
	錠			棒		革	同上]			ネクタ		<u></u> シ,
									合ネクタイ	冬ネクタイ		合ワイシャ
									7	7		ヤツ
制式	[同上]		制式	[同上]	制式	[匝刊]		[同上]	地質	イ [同上]	制式	

										識別章			階級章		警察庁長官章			拳銃つりひも
- న _ం	3 形状は、図二十一のとおりとす	の名称を黒色で表示する。	道府県警察にあつては道府県警察	察庁、都警察にあつては警視庁、	を、裏面には警察庁にあつては警	ト二文字及び数字三桁の識別番号	2 番号標の表面にはアルファベッ	番号標をはめ込む。	制式 1 本体の中にスライド着脱方式の	[略]	形状は、図二十のとおりとする。	制式 [略]	[略]	2 形状は、図十九のとおりとする。	1 金色の金属製日章五個を一行に	3 形状は、図十八のとおりとする。 2 小さい輪になす環を付ける。	小の輪を設ける。	[略]

識別章

同上

制式

1

本体の中にスライド着脱方式の

2

番号標の表面にはアルファベッ

番号標をはめ込む。

を、裏面には警察庁にあつては警

ト二文字及び数字三桁の識別番号

階級章

同上

2

形状は、図十七のとおりとする。

配置する。

3 2

形状は、図十六のとおりとする。小さい輪になす環を付ける。

1

金色の金属製日章五個を一行に

制式

同上

形状は、

図十八のとおりとする。

警察庁長官章

拳銃つりひも

同上

制式

1

カールコード式とし、

両端に大

小の輪を設ける。

備考

[]~八 略]

けないものとする。 制服用ワイシャツの肩章に各一個を付ける。この場合において、肩章には日章ボタンを付制服用ワイシャツの肩章に各一個を付ける。この場合において、肩章には日章ボタンを付入 警察庁長官章及び警視総監の階級章は、図二十二のように、制服、活動服、防寒服及び

備考

3

形状は、図十九のとおりとする。

の名称を黒色で表示する。

道府県警察にあつては道府県警察察庁、都警察にあつては警視庁、

[一~八 同上]

ないものとする。
服用ワイシャツの肩章に各一個を付ける。この場合において、肩章には日章ボタンを付け
服用ワイシャツの肩章に各一個を付ける。この場合において、肩章には日章ボタンを付け
警察庁長官章及び警視総監の階級章は、図二十のように、制服、活動服、防寒服及び制

防寒服及び制服用ワイシャツの左胸部に付ける。- 階級章(警視総監の階級章を除く。)及び識別章は、図二十一のように、制服、活動

報

夏服上衣第一種

官

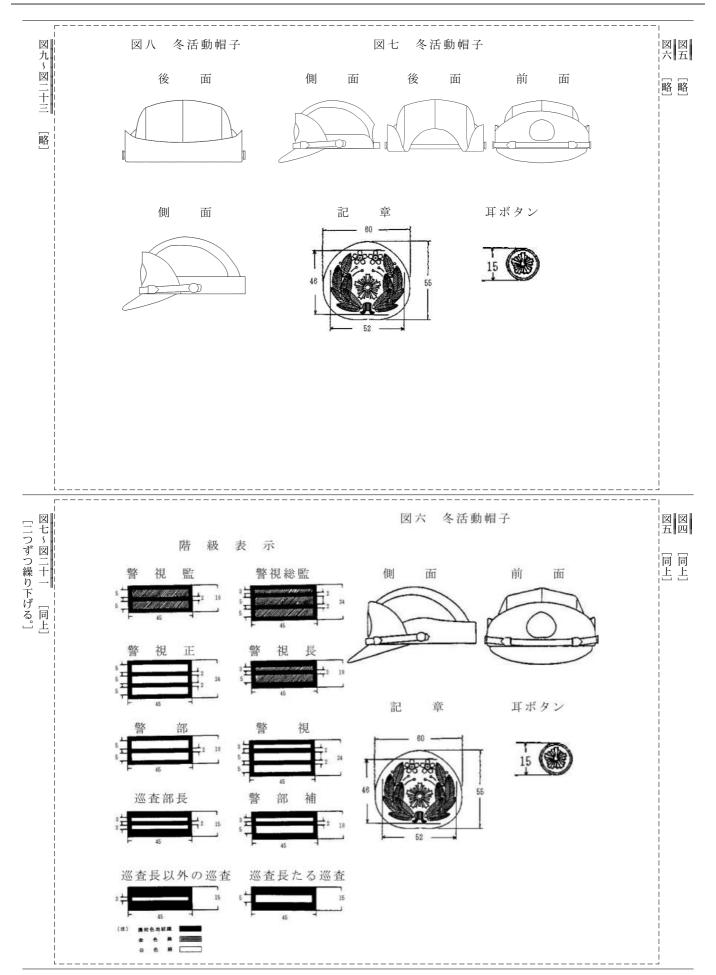
[略]

夏服上衣第二種



図三 夏服上衣

[同上]



									制服	7
		合服							冬服	力相響繁作
		上衣			ズ ボ ン	略			上衣	
[略]	地質	[略]	市	地質	色		[略]	地質	[略]	
	物とする。		形状を図三のとおりとするほかは	上衣と同質とする。	上衣と同色とする。			物とする。 電機物、化学繊維織物又はこれらの		

スカー	ト ス カ I	 ズ ボ カ し	ズ トスカリ	ズ ボ カ レ	ズ ボ カ レ	合服 上式 ズボ カ カ	
						<i>γ</i>	
	式質	式質	質	式質	式質	一	質 同 式 質 式 質
上衣と同質とする。	6 5 4 付ける。 個値を設ける。 は蓋及び糾魚 は蓋及び糾魚 が高面にボッ	衣 る 付は個 る	衣 衣 る 付は個 る	2 1 上去 6 5 4 付は蓋 3 2 1 4 付は蓋 6 6 6 6 7 <	2 1 と表と同様を設ける。 ※ 1 タイトスカー 4 前面にボッカー 2 1 表と同質とする。 ※ 第字字冬服 ボボンとすることができることがですることができることができません。 2 1 表 形状は、図型 2 1 表 形状は、図型 2 1 表 形状は、図型 2 1 表 形状は、図型 3 2 1 表 2 1 和 2 1	4 3 2 1 上表と同じの なた形形では、形形では、形形では、形形では、できれて、できれて、できれて、できれて、できれて、できれて、できれて、できれて	物混毛 り混毛 り混毛 とはののただ形容が、。警が、長とし同し、ののでは、形だし、状ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、
算とする。	タイトスカートとする。 「大力」とする。 「大力」とする。 「大力」とする。 「大力」と 「	と同色とする。 と同色とする。 と同色とする。 と同色とする。 と同色とする。 と同色とする。 と同色とする。 と同色とする。	では、図三のとおりにボックスプリーにボックスプリーにボックスプリーにボックスプリーにボックスプリーにボックスプリーとする。	タイトスカートとする。 タイトスカートとする。 両側及び後面右にポケット各一個を設ける。後面右のポケットを は蓋及び紺色樹脂ボタン各一個を 前面にボックスプリーツを設け 前面にボックスプリーツを設ける。 後面の裾にスリットを入れる。 後面の裾にスリットを入れる。 形状は、図三のとおりとする。 形状は、図三のとおりとする。	タイトスカートとする。 タイトスカートとする。 両側及び後面右にポケット各一個を設ける。後面右のポケットに個を設ける。後面右のポケットに個を設ける。 後面の裾にスリットを入れる。 後面の裾にスリットを入れる。 後面の裾にスリットを入れる。 形状は、図三のとおりとする。 形状は、図四のとおりとする。 形状は、図四のとおりとする。 形状は、図四のとおりとする。 形状は、図四のとおりとする。 形状は、図四のとおりとする。 ただし、ベルト通しては、カート又は男性 常空官冬服ズボンと同様とする。 か形状の全部又は一部についてただし、ベルト通し又はポケットただし、ベルト通し又はポケットただし、ベルト通してはポケットの形状の全部又は一部についてる。	にベルト通し五大にベルト通し五大にベルト通し五大ける。後面右にボケ及び後面右にボケ及び後面右にボケクスプリーにボックスプリーにボックスプリーにボックスプリーにボックスプリーにボックスプリーにボックスプリーにボックスプリーにボックスプリーにボックスプリーにボックスプリーにボックトは、図三のとおりできる。 マルト通しては、スカートで終了できる。 ことができる。	にベルト通し五本を付け、にベルト通し五本を付け、が紺色樹脂ボタン各一個をける。後面右のボケットを入れる。後面右のボケットにが紺色樹脂ボタン各一個をできる。とする。は、図三のとおりとする。は、図三のとおりとする。は、図四のとおりとする。は、図四のとおりとする。は、図四のとおりとする。は、図四のとおりとする。な、交撚織物若しくは発生警察官冬服ズボンと同様とする。ことができる。ことができる。ことができる。
	し五本を し五本を のボケット リーツを トを入れ	し五本を1のポケット・タン各一・タン各一・アクント・アット・アット・アット・アット・アット・アット・アット・アット・アット・アッ	13 からい し 五本を 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	リーツをからとする。	し五本をはし五本をはし五本をはして一部についた。 「アマはポケットを入れる」 「アマはポケットを入れる」 「アマはポケットを入れる」 「アマントを記している。」 「アマントをこっている。 「アマントをこっている。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマントでいる。 「アマン・ 「アマントでいる。 「アマン・	し五本をはして、 「一部についます」 「一部についます」 「一部についます」 「一部についます」 「一部についます」 「一部についます」	1-1とする。

								夏 服				
	ベスト							上衣			ズボン	略
地質	[略]				第二種			第一種	制式	地質	色	
		制式		地質	色	制式	地質	色				
物若しくは交織織物とする。		する。男性警察官夏服上衣第二種と同様と	物若しくは交編編物とする。 物若しくは交編編物、化学繊維編物物、麻編物、綿編物、化学繊維編物、化学繊維編物	毛織物、麻織物、綿織物、化学繊維する。	男性警察官夏服上衣第二種と同色と	4 形状は、図四のとおりとする。 2 長袖の袖口には黒金色樹脂ボタン各一個を付ける。 3 1及び2のほかは、男性警察官 3 1及び2のほかは、男性警察官 3 1及び2のほかは、男性警察官 3 1及び2のほかは、男性警察官 3 1及び2のほかは、男性警察官 3 1を対しません。	物若しくは交編編物とする。物若しくは交編編物、保織物、保織物、化学繊維編物、化学繊維編物、成工工的の混紡編物、交撚編をはいているのには、の混紡織物、保織物、保織物、保織物、保織物、保織物、保織物、保織物、	する。男性警察官夏服上衣第一種と同色と	冬服ズボンと同様とする。	上衣と同質とする。	上衣と同色とする。	

				夏服						
	ベスト			上衣		:	ズボン		トカー	同上
地 質	[同上]	制式	地 質	色	制式	地質	色 有	11 地質	色	
物若しくは交織織物とする。 総物又はこれらの混紡織物、交撚織 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1 前身内合わせを右上前とする。 2 長袖の袖口には黒金色樹脂ボタン各一個を付ける。 3 1及び2のほかは、男性警察官 夏服上衣と同様とする。 4 形状は、図五のとおりとする。	物若しくは交織織物とする。 物若しくは交織織物とする。	男性警察官夏服上衣と同色とする。	冬服ズボンと同様とする。	上衣と同質とする。	とする。	上衣と同質とする。	上衣と同色とする。	

436

ワイシ 制服用

合ワイシャツ 冬ワイシャツ

地質

毛織物、

麻織物、綿織物、

合成繊維

交撚織

物若しくは交織織物とする。 織物又はこれらの混紡織物、 同上

制式

2 襟元に黒金色樹脂ボタン一個を

肩章は紺色とする。

付ける。

長袖とする。

同上

制式

冬活動帽子と同様とする。 物若しくは交織織物とする。 織物又はこれらの混紡織物、 夏活動帽子 合活動帽子

地質

色

とする。

かは、男性警察官冬活動帽子と同様 記章の寸法を図九のとおりとするほ 冬活動服と同質とする。 冬活動服と同色とする。

藍色とする。

毛織物、麻織物、綿織物、

合成繊維

活動帽

冬活動帽子

る。

男性警察官冬活動帽子と同様とす

活動帽

冬活動帽子

色

制式 地質 略

制服用 階級章 ワイシ 略 略 略 一~九 略 のとおりとする。 だし、階級章 (警視総監の階級章を除く。)及び識別章をベストに取り付ける位置は、図八 警察庁長官章、階級章及び識別章の取付け位置は、男性警察官の場合と同様とする。た 冬ワイシャツ 合ワイシャツ 夏活動帽子 合活動帽子 制式 地質 略 3 2 男性警察官合活動帽子及び男性警察 男性警察官階級章と同様とする。 4 織物又はこれらの混紡織物、 毛織物、麻織物、綿織物、 官夏活動帽子と同様とする。 物若しくは交織織物とする。 付ける。 衣第一種と同様とする。 長袖とする。 襟元に黒金色樹脂ボタン一個を 1から3までのほかは、 肩章は紺色とする。 化学繊維 夏服上 交撚織

備考

同上

階級章

男性警察官階級章と同様とする。

寸法を図十のとおりとするほかは、

同上

4

1から3までのほかは、

夏服上

衣と同様とする。

[一~九 同上]

||--||だし、階級章(警視総監の階級章を除く。)及び識別章をベストに取り付ける位置は、図十 一のとおりとする。 警察庁長官章、階級章及び識別章の取付け位置は、男性警察官の場合と同様とする。た

(号外第71号)

(交通巡視員の服制に関する規則の一部改正)

第二条 交通巡視員の服制に関する規則(昭和四十五年国家公安委員会規則第七号)の一部を次のように改正する。

規定として移動する。 して掲げるその標記部分(連続する複数の規定を記号により一括して標記した箇所を含む。)に二重傍線を付した規定(以下「対象規定」という。)は、改正前欄に掲げる対象規定を改正後欄に掲げる対象 次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分のように改め、改正前欄及び改正後欄に対応

													制服	一交通	別表(第一	
	夏服						合服						冬 服	交通巡視員	(第一条関係)	
	上衣	略					上衣	略					上衣	(男性)		
	第一種		略			地質	略		略			地質	略			改
地質	色	 														
		 														正
毛織物、麻織物、綿織物、化学繊維 毛織物、麻織物、綿織物、化学繊維 特にくはこれらの混紡織物、交 燃織物若しくはごれらの混紡織物、交 が、麻編物、綿編物、化学繊維編物 を表しくはこれらの混紡編物、化学繊維	水色とする。			物とする。	混紡織物、交撚織物若しくは交織織	毛織物、化学繊維織物又はこれらの				物とする。	混紡織物、交撚織物若しくは交織織	毛織物、化学繊維織物又はこれらの				後
													Æıl] —	別表	
													制服	一交通巡	別表(第一条	
	夏服	1					合服						冬服	一交通巡視員(田	別表(第一条関係)	
		[同上]					合服 上衣	[同上]						一交通巡視員(男性)		
地質		[同上]	[同上]			地質		[同上]	同上			地質	冬服			改
地質	上 衣	[同上]	[同上]			地質	上衣	[同上]	[同上]			地質	冬服上衣			改正

第二種 色											
地質 地質 地質 上部にヨークを入れる。 1 前面 上部にヨークを入れる。 上部にヨークを入れる。 上部にヨークを入れる。 上部にヨークを入れる。 上部にヨークを入れる。 上部にヨークを入れる。 各二個を一行に付ける。 おもしくはこれらの混紡編物 大田とする。 日前立てに黒金色樹脂ボタンを一種と同様とする。 日前立てに黒金色樹脂が、麻織物、麻織物、麻織物、麻織物、麻織物、麻織物、麻織物、麻織物、麻織物、麻織物					第二種						
章 1 藍色とする。 立 2 外側の端を両肩の縫い			制式	地質							
1 藍色とする。	前面	肩章	襟				レエムンブ	袖	後面	前面	肩章
	色樹脂ボタン各一個を付ける。左右の胸部にポケット各一個をを一行に付ける。がカットの側をでしている。がカットの側をはある。がカットの側を付ける。		第一種と同様とする。		水色とする。	1	服上衣と同様とする。 図柄を付けることとするほかは、 けい素樹脂製で枠、記章、名称及 台地を用いず、濃紺色の人工皮革	各と	上部にヨークを入れる。	付ける。一行ける。一行に付ける。左右の胸部にポケット各一を一行に付ける。を一行に付ける。	2 外側の端を両肩の縫い目に縫い (以下「黒金色樹脂ボタン」とン (以下「黒金色樹脂ボタン」と
レエ 袖 後 前 肩 ジ ムンブ							レエンブ	袖	後面	前面	肩章

とおりとすし、後面及、形状は、図	制式 [略]	活動帽 冬活動帽子 [略]	略	地質	夏帽子 [略]	形状は、図	[略]	工皮革の2 黒色の	信製の姿で囲む。 日章を金色のモーロ章を金色の金属製型	制式 [略]	制帽 冬帽子 [略]	[略]	形状は、図	制式 [略]	活動服 冬活動服 [略]	[略]	地質	ズボン「略」	形状は、図四	レムエンブ第一種と同様とする。
とおりとすることができる。し、後面及び側面にあつては図八のおりとする。ただ		活動帽		とする。 とする。 とする。 とする。		図六のとおりとする。		工皮革の台地とする。黒色のフェルト製、布製又は人	自製の姿で囲い。金色の金属製又は合成樹脂製の		制帽		図五のとおりとする。		活動服		物若しくは交織織物とする。 総物又はこれらの混紡織物、交撚織毛織物、麻織物、綿織物、化学繊維		四のとおりとする。	様とする。
				1) #	夏 帽 子						冬帽子	同上			版 冬活動服			ズボン		
	制式	[同上]	同上	地質	同上					制式	[同上]			制式	[同上]	[同上]	地質	同上		
形状は、	[同上]			手織物、麻織物、綿織物、合成繊維をする。		形状は、図五	[同上]	地とする。 単色のフェルト	記章 1 金色の金属製日章を金色のモ	[同上]			形状は、図四	[同上]			物若しくは交織織物とする。 織物又はこれらの混紡織物、 毛織物、麻織物、綿織物、魚			
図六のとおりとする。		1		し父礼織		五のとおりとする。		ノエル	世を記している。				四のとおりとする。				は交織織物とするにれらの混紡織物、綿織物、綿織物、			

																ζ‡;			
																防寒服			
				第二種												第 一 種			夏舌動帽子
				7里							ズボン					上 衣		, -	引帽子子
		生(+sh							生化	<u> </u>			生间	ł.lit			掛	
		制式	地質	略						制式	略			制式	地質	略	略	地質	略
	略												略						
11%	ij				5	4	3		2	1		11%	凹					レ 幼 絙 王 肳 碑 毛	
形状は、		略	若しくはこれらの混紡織物とする。合成皮革又は毛織物、化学繊維織物		サータ		_	17				形状は、		略	若しくはこれらの混紡織物とする。合成皮革又は毛織物、化学繊維織物			を対ることができる。 毛織物、麻織物、麻織物、化学繊維編物又はこれらの混紡織物、麻原 一次が表しくは交織織物とする。 一次が表しくは交織織物とする。 一次が表しては毛編物、麻原 一次が表してはで、 一次が表してはで、 一次ができる。 とすることができる。	
図十			はこれた		形状は、図十のと4	ロの外側	二個を付ける。		口の腰部	長ズボンとする。		図九の			単又は手			はこれらの で 大は交 機に で 大は 交 挑編物、 で 大は 交 挑編物、 で 大は 大は 大は 大は 大は 大は 大は 大は 大は 大は	
図十一のとおりとする。			の混結		図十のとおりとする。	別からら	る。部に知		叩に伸縮	こする。		図九のとおりとする。			の混結物、			物、 綿織物、 の混紡織物とする。	
りとす			織物と		こおりょ	上に向け	色樹脂		性ベル			っとする			織りが			Wa	
。 る。			織物とする。		こする。	裾口の外側から上に向けファス	個を付ける。 前立ての上部に紺色樹脂ボタン		左右の腰部に伸縮性ベルトを付			ું			化学繊維織物			をすることができる。 とすることができる。 とすることができる。 とすることができる。 とすることができる。 とすることができる。 とすることができる。	
			1/31												1/31			153 1 152 1 141 - 1 1154 1154	
																防寒服			
				答															三 A
				第二種												第一種			夏舌動帽子合活動帽子
											ズボン					上衣		<u>'</u>	子子
		制式	地質	同						制式				制式	地質	同	同	地質	同
				同上							同上					同上	同上		同上
														1					
													[同上]						
1	同上												占		l		1		
形狀	[同斗]		若合成		5 +	4	_ 3	<i>l</i> +	2	1		形狀		冒	若合成			物 織 毛 物 織	
形状は、図	[同上]	[同上]	若しくはる		5 形状は		-	け				形状は、図		同上	若しくはる			************************************	
1	[匝斗]	[同上]	若しくはこれらる		形状は、		-	け						[同上]	若しくはこれらの			毛織物、麻織物、麻織物、麻織物、麻織物、麻織物、	
	[同上]	[同上]	若しくはこれらの混紡物で		形状は、		-	け		1 長ズボンとする。				[同上]	若しくはこれらの混紡の一名成皮革又は毛織物、			毛織物、麻織物、綿織物をはこれらの混紡物をはこれらの混紡物をはこれらの混紡物をといる。	
形状は、図九のとおりとする。	[同上]	[同上]	若しくはこれらの混紡織物とする。合成皮革又は毛織物、合成繊維織物		ナ	4 裾口の外側から上に向けファス	3 前立ての上部に紺色樹脂ボタン	け	2 左右の腰部に伸縮性ベルトを付			形状は、図七のとおりとする。		[同上]	若しくはこれらの混紡織物とする。合成皮革又は毛織物、合成繊維織物				

ヤ ワ 制 ツ イ 服 シ 用								雨衣
合 ワイシ イシャッツ		第 二 種						第一種
ン シャット ツ ツ				ズボン				上衣
制 地質 [略]	制式	地質略	制式	略		制式	地質	略
					略			
4 3 2 1 物 機 毛織 物 若しくは 原 一種 に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	5 4 3 2 1 日 白 色 腰 一 ゴー 状とかの部 行 立 ー	化学繊維	6 形状は、図 5 裾口の外側 4 前立てに白 4 前立てに白 スナー各一本 スナーの外側	形状は、		略	化学繊維	
に 大 (大 (大 (大 (大 (本) (大 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	コート式とする。 前立てに桜葉ドットボタン六組 前立てに桜葉ドットボタン六組 を一行に付ける。 腰部にベルト通し五本を付け、 腰部にベルト通し五本を付け、 たなと同様とする。 形状は、図十四のとおりとする。	化学繊維織物とし、	長ズボンとする。 長ズボンとする。 前立てに白色のドットボタン三 前立ての上部にドットボタン二 組を一行に付ける。	図 十 二 の			化学繊維織物とし、	
は とする。 とする。 に とする。 に とする。 に とする。	Gのとおり でいった。 でいった。 でいった。 でいった。 でいった。	防水	付ける。	図十二のとおりとする。				
、 ン 。 、化 夏 一 次 繊 服 個 燃 繊 上 を 織 維	タン六組 タン六組 を通す。	加工を施す。	ルトを付がる。	する。			防水加工を施す。	
	1							
ャ ワ 制 ツ イ シ 用								雨衣
		第二種						第一種
ヤツ タワイシャツ 合ワイシャツ		第二種		ズボン				
	制式	第二種地質	制式	ズボン[同上]		制式	地質	第一種
合 ワ イシャ ツ ツ	制式	1:10	制式			制式	地質	第一種上衣
合 ワ イシャ ツ ツ	制式	1:10	制式		[同土]	制式	地質	第一種上衣
合ワイシャツ (同上) 制式 (同上) # 3 (日本) (日本) (日本) <td< td=""><td>5 4 3 2 1 上 白 を</td><td>地質 [同上]</td><td>6 5 4 3 2 1 ス 網 網 け</td><td>同上一形状は、</td><td>[同上]</td><td>制式 [同上]</td><td></td><td>第一種上衣</td></td<>	5 4 3 2 1 上 白 を	地質 [同上]	6 5 4 3 2 1 ス 網 網 け	同上一形状は、	[同上]	制式 [同上]		第一種上衣
合ワイシャツ (同上) 制式 (同上) # 3 (日本) (日本) (日本) <td< td=""><td>5 4 3 2 1 上 白 を</td><td>地質 [同上]</td><td>6 5 4 3 2 1 ス 網 網 け</td><td>同上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>[同上]</td><td></td><td></td><td>第一種上衣</td></td<>	5 4 3 2 1 上 白 を	地質 [同上]	6 5 4 3 2 1 ス 網 網 け	同上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[同上]			第一種上衣
会ワイシャツ () 合ワイシャツ 地質 制式 1 () () <td< td=""><td></td><td>1:10</td><td>6 5 4 3 2 1</td><td>同上一形状は、</td><td>[同七]</td><td></td><td>地質 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一</td><td>第一種上衣</td></td<>		1:10	6 5 4 3 2 1	同上一形状は、	[同七]		地質 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	第一種上衣

令和7年3月31日 月曜日

備考 識別章 ネクター冬ネクタイ 交通巡視員章 1 [一~三 略] 略 ツの左胸部に付ける。 交通巡視員章及び識別章は、 合ネクタイ 制式 制式 地質 制式 略 略 略 略 略 図十八のように、制服、活動服、防寒服及び制服用ワイシャ 2 3 3 2 物とする。 毛織物、化学繊維織物又はこれらの 混紡織物、交撚織物若しくは交織織 県警察の名称を黒色で表示する。 視庁、道府県警察にあつては道府 を、裏面には都警察にあつては警 章台を、日章台の両側及び横板の ト二文字及び数字三桁の識別番号 番号標をはめ込む。 下方に桜葉を付ける。 を入れた銀色の金属製バックルを 横板に緑色の線二条を溝にして 形状は、図十七のとおりとする 番号標の表面にはアルファベッ 形状は、図十六のとおりとする。 形状は、図十五のとおりとする。 本体の中にスライド着脱方式の 梨地の横板の中央に日章及び日 遊革及び日章を桜で囲んだ記章 備考 識別章 帯革 1 ネクター冬ネクタイ 交通巡視員章 同上 ツの左胸部に付ける。 交通巡視員章及び識別章は、図十六のように、制服、活動服、防寒服及び制服用ワイシャ 合ネクタイ 同上 制式 制式 制式 地質 同上 同上 同上 同上 同上 3 2 3 2 物とする。 毛織物、合成繊維織物又はこれらの 混紡織物、 県警察の名称を黒色で表示する。 を、裏面には都警察にあつては警 章台を、日章台の両側及び横板の 視庁、道府県警察にあつては道府 ト二文字及び数字三桁の識別番号 番号標をはめ込む。 を入れた銀色の金属製バックルを ト方に桜葉を付ける。 横板に緑色の線二条を溝にして 形状は、図十五のとおりとする。 番号標の表面にはアルファベッ 形状は、図十四のとおりとする。 形状は、図十三のとおりとする。 梨地の横板の中央に日章及び日 本体の中にスライド着脱方式の 遊革及び日章を桜で囲んだ記章 交撚織物若しくは交織織

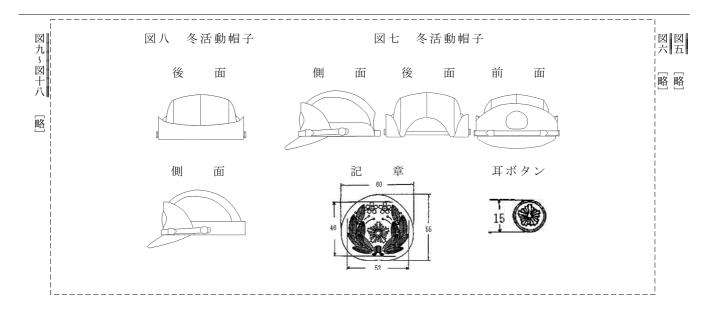
図三 夏服上衣第一種[略]

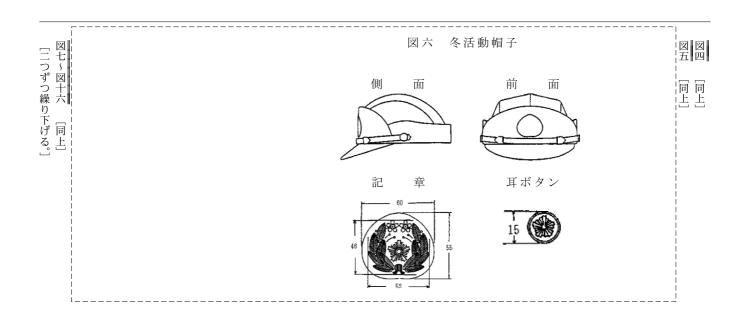
図四 夏服上衣第二種



図三 夏服上衣

[同上]





								伟 朋
	合服							冬 肝
	上衣			ズボ ン	略			土
地質	[略]	制式	地質	色		[略]	地質	
物とする。も織物、化学繊維織物又はこれらの		様とする。 様とする。	上衣と同質とする。	上衣と同色とする。			毛織物、化学繊維織物又はこれらの毛織物、化学繊維織物又はこれらの	

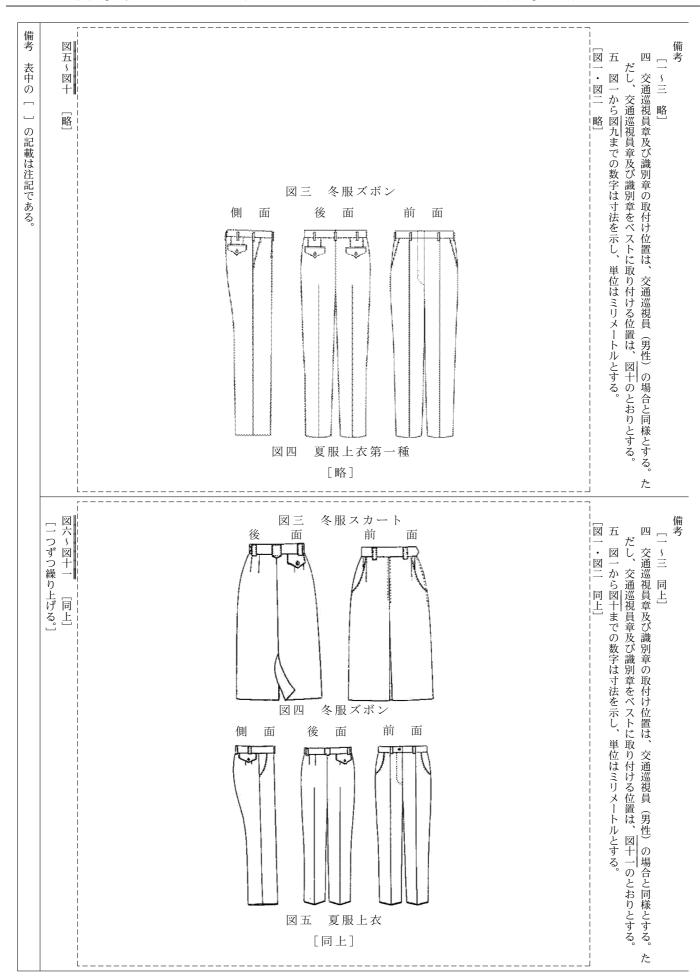
												制服
		合服										冬服
		上衣			ズボン		 }	 スカー	同			上衣
[同上]	地質	[同上]	制式	地質	色	制式	地質	色		[同上]	地質	[同上]
	毛織物、合成繊維織物又はこれらの 毛織物、合成繊維織物又はこれらの		3 形状は、図四のとおりとする。カートと同様とする。	上衣と同質とする。	上衣と同色とする。	1 タイトスカートとする。 2 腰部にベルト通し五本を付ける。 3 両側及び後面右にポケット各一個を設ける。後面右のポケットには蓋及び紺色樹脂ボタン各一個を付ける。 4 前面にボックスプリーツを設ける。 6 形状は、図三のとおりとする。	上衣と同質とする。	上衣と同色とする。			毛織物、合成繊維織物又はこれらの 物とする。	

	ベスト						夏服			 ズボ ン	[二]
地質	[略]			第二種			第一種	制式	地質	色	 -
		制式	地質	色	制式	地質	色				
物若しくは交織織物とする。織物又はこれらの混紡織物、交撚織毛織物、麻織物、綿織物、化学繊維		と同様とする。 と同様とする。	物若しくは交編編物とする。物若しくは立れらの混紡編物、交撚編物をしくはで織織物又は毛編然、麻編物、綿編物、化学繊維編物をはこれらの混紡編物、交撚編をが、麻織物、麻織物、綿織物、化学繊維	と同色とする。 交通巡視員(男性)夏服上衣第二種	1 前身内合わせを右上前とする。 2 長袖の袖口には黒金色樹脂ボタン各一個を付ける。 3 1及び2のほかは、交通巡視員 (男性)夏服上衣第一種と同様とする。	物若しくは交編編物とする。 物若しくはで織織物又は毛編物、麻編物、綿編物、化学繊維編物 を機織物若しくは交織織物又は毛編然にはこれらの混紡織物、交 機物若しくはで総織物をは毛織物、 を機物、麻織物、綿織物、化学繊維	と同色とする。 と同色とする。	冬服ズボンと同様とする。	上衣と同質とする。	上衣と同色とする。	

	ベスト			夏 服 上 衣			ズボン			スカー	[同上]
地質	- [[制式	地質	色	制式	地質	色	制式	地質	色	
物若しくは交織織物とする。 物若しくは交織織物とする。 を		1 前身内合わせを右上前とする。2 長袖の袖口には黒金色樹脂ボタン各一個を付ける。(男性)夏服上衣と同様とする。の男性)夏服上衣と同様とする。	毛織物、麻織物、綿織物、合成繊維 を を を を を とする。	とする。	冬服ズボンと同様とする。	上衣と同質とする。	上衣と同色とする。	冬服スカートと同様とする。	上衣と同質とする。	上衣と同色とする。	

_																							
							制帽									活動服							
		夏帽子	合帽子				冬帽子	略								冬活動服							
		,	•				•									服						ズボン	
<u> </u>	略	地質	略		制式	地質	色	_							制式	略	制式	地質				色	 制 式
					略																		
		物若しくは交織織物とする。毛織物、麻織物、綿織物、化学繊維毛織物、麻織物、綿織物、化学繊維		形状は、図七のとおりとする。		冬服上衣と同質又はフェルトとす	冬服上衣と同色又は濃紺色とする。		5 形状は、図六のとおりとする。	る。	4 1から3までのほかは、交通巡	一本を付ける。	する。ポケットコこはファスナー 3 前面左腹部にポケット一個を設	2 前身内合わせを右上前とする。	冬服上衣と同様とする。 1 肩章は、幅を均等とするほかは、		冬服ズボンと同様とする。	ベストと同質とする。				ベストと同色とする。	1 背バンドー本を後面腰部に縫い 1 背バンドー本を後面腰部に縫い
																							-
							制帽									活動服							
		夏帽子	合帽子				冬帽子	同上								冬活動服							
																月又 			ズボン		<u>۲</u>	スカー	
[i	[司上]	地質	[同上]		制式	地質	色								制式	[同上]	制式	地質	色	制式	地質	色	制 式
		物若しくは交織織物とする。 総物又はこれらの混紡織物、交撚織 毛織物、麻織物、綿織物、合成繊維		形状は、図八のとおりとする。	[同上]	フェルトとする。	濃紺色とする。	_	5 形状は、図七のとおりとする。	る。 視員 (男性) 冬活動服と同様とす	4 1から3までのほかは、交通巡	一本を付ける。	する。ポケットコこはファスナー3 前面左腹部にポケット一個を設	2 前身内合わせを右上前とする。	8服上衣と同様とする。 1 肩章は、幅を均等とするほかは、	-	冬服ズボンと同様とする。	ベストと同質とする。	ベストと同色とする。	冬服スカートと同様とする。	ベストと同質とする。	ベストと同色とする。	1 背バンドー本を後面腰部に縫い なトと同様とする。 ストと同様とする。

略	交通巡	略		ヤ ワツ イ シ	制服用	略				活動帽
	交通巡視員章			合ワイシャツ				夏活動帽子		
			制式	地質	略		[略]	地質	制式	[略]
	同様とする。 「同様とする。		1 肩章は紺色とする。 2 襟元に黒金色樹脂ボタン一個を付ける。 3 長袖とする。 4 1から3までのほかは、夏服上 衣第一種と同様とする。	物若しくは交織織物とする。				毛織物、麻織物、綿織物、化学繊維 総物又はこれらの混紡織物、交撚織 物若しくは交織織物とする。ただし、 大井にあつては毛編物、麻編物、綿 編物、化学繊維編物又はこれらの混 編物、で撚編物若しくは交編編物 とすることができる。	子と同様とする。 記章の寸法を図八のとおりとするほ	
[同上]	交通巡視員章	[同上]		ャ ワッ イシ	制服用	[同上]				活動帽
	視員章			合ワイシャツ	冬ワイシャツ			夏活動帽子		冬活動帽子
			制式	地質	[同上]		同上	地質 同上	制式	同上
	同様とする。		1肩章は紺色とする。2襟元に黒金色樹脂ボタン一個を付ける。41から3までのほかは、夏服上衣と同様とする。	物若しくは交織織物とする。				毛織物、麻織物、綿織物、合成繊維 制を対しくは交織織物とする。 を拡織を	子と同様とする。 記章の寸法を図九のとおりとするほ	



第二条 この規則の施行の際現に男性警察官に支給されている活動帽は、当分の間、第一条 この規則は、令和七年四月一日から施行する。 附 則 女性警察官階級章とみなす。 女性警察官に支給されているズボン若しくは活動帽又は貸与されている階級章は、当分の間、それぞれ新規則別表に規定する女性警察官ズボン若しくは女性警察官活動帽又は2 この規則の施行の際現に女性警察官に支給されているズボン若しくは活動帽又は貸与されている階級章は、当分の間、それぞれ新規則別表に規定する女性警察官ズボン若しくは女性警察官活動帽又は 活動帽とみなす。

第三条 この規則の施行の際現に交通巡視員(女性)に支給されているズボンは、(交通巡視員の服制に関する規則の一部改正に伴う経過措置) 当分の間、 第二条の規定による改正後の交通巡視員の服制に関する規則別表に規定する交通巡視員(女性)ズボンとみな

第一条の規定による改正後の警察官の服制に関する規則(次項において「新規則」という。)別表に規定する男性警察官

警察官等の服制に関する細則

平成6年2月17日(警察庁訓令第1号)

施行 平成6年4月1日

改正 平成6年7月28日 (警察庁訓令第11号)

平成10年9月9日(警察庁訓令第10号)

平成14年7月5日(警察庁訓令第8号)

平成19年5月17日(警察庁訓令第7号)

平成27年12月14日 (警察庁訓令第20号)

令和7年3月31日(警察庁訓令第3号)

(活動服等の着用)

- 第1条 警察官は、警視総監又は道府県警察本部長(以下「警察本部長」という。)の定めるところにより、次の各号のいずれかに該当する場合には、活動服、活動帽又は活動ネクタイを着用することができる。
 - (1) 宿日直勤務に従事するとき。
 - (2) 留置業務に従事するとき。
 - (3) 地域警察勤務に従事するとき。
 - (4) 警察用車両に乗車し、警察用船舶に乗船し、又は警察用航空機に搭乗して勤務するとき。
 - (5) 捜索に従事するとき。
 - (6) 鑑識のための作業に従事するとき。
 - (7) 交通指導取締り又は交通事故事件捜査に従事するとき。
 - (8) 道路標識及び道路標示の設置又は管理に係る業務に従事するとき。
 - (9) 治安警備実施又は雑踏警備実施に従事するとき。
- (10) 災害警備実施に従事するとき。
- (11) 前各号に掲げる業務に準ずる業務に従事するとき。
- 2 警察官は、冬服又は合服の着用期間において、制服上衣若しくは活動服を着用して勤務 するとき又は室内で勤務するとき(交番、駐在所等で公衆の面前において勤務するときを 除く。第2条第3項第1号において同じ。)は、制服用ワイシャツに代えて白色のワイシャツ(無地のものに限る。)を着用することができる。

(服装等の一部省略等)

- 第2条 警察官は、室内で勤務するとき及び警察本部長が定めるヘルメットを着用するとき は、制帽又は活動帽を着用しないことができる。
- 2 警察官は、前条第1項各号のいずれかに該当する場合において、活動服を着用して勤務 するときは、警察本部長の定めるところにより、ネクタイ又は活動ネクタイを着用しない ことができる。

- 3 警察官は、次の各号のいずれかに該当する場合には、帯革又は手錠を着装しないことが できる。
- (1) 室内で勤務するとき。
- (2) 会議又は事務打合せに出席するとき。
- (3) 儀式に出席するとき。
- (4) 音楽隊員が演奏に従事するとき。
- (5) 看守勤務の警察官が留置施設において勤務するとき。
- (6) 災害応急対策のための作業に従事するとき。
- (7) 前各号に掲げる場合のほか、帯革又は手錠を着装する必要がないと所属長が認めたとき。
- 4 警察官は、拳銃又は警棒を着装しないときは、帯革本帯から拳銃用調整具及び拳銃入れ 又は警棒つりを取り外すものとする。
- 5 警察官は、次の各号のいずれかに該当する場合には、識別章を着装しないことができる。
- (1) 名札を着用しているとき。
- (2) 留置業務に従事するとき。
- (3) 治安警備実施に従事するとき。
- 6 警察官は、暴力団の事務所を捜索する場合であって識別章の番号標の表面を表示することによりその現場又は事後における警察の職務執行に対する妨害が助長されると認められる場合その他の識別章の番号標の表面の表示が適正な職務執行を妨げることとなると所属長が認めた場合には、当該番号標の裏面を表示することができる。

(特殊の被服等)

- 第3条 警察官は、警察本部長の定めるところにより、特殊の被服及び装備品(交通乗車服、 出動服その他別に定めるものを除く。以下同じ。)を着用することができる。
- 2 特殊の被服及び装備品の色、地質又は材質及び制式については、警察本部長が定めるものとする。ただし、儀礼服については、警察庁長官の承認を得なければならない。

(皇宮護衛官への準用)

第4条 前3条の規定は、皇宮護衛官の服制について準用する。この場合において、「警察本部長」とあるのは、「皇宮警察本部長」と読み替えるものとする。

附則

この訓令は、平成6年4月1日から施行する。

附 則 [平6.7.28警庁訓11]

この訓令は、平成6年7月28日から施行する。

附 則 [平10.9.9 警庁訓10]

この訓令は、平成10年10月1日から施行する。

附 則 [平14.7.5 警庁訓8]

この訓令は、平成14年10月1日から施行する。

附 則 [平19.5.17警庁訓7]

- この訓令は、平成19年6月1日から施行する。 附 則〔平27.12.14警庁訓20〕
- この訓令は、平成28年1月1日から施行する。 附 則〔令7.3.31警庁訓3〕
- この訓令は、令和7年4月1日から施行する。